



2014-15 年度 R I のテーマ「ロータリーに輝きを」
R I 会長 ゲイリー・C. K. ホアン (Light Up Rotary)

八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 工藤 武重 ●会長 榎 清蔵 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/>

Email : hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org/2014/>

第 1903 回例会記録《国際奉仕委員会担当例会》(米山)

2014 年 10 月 16 日 (木) 点鐘 12 : 30

レポート No. 1336

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか

第 1903 回例会要旨

- ・ 会長要件
- ・ 幹事報告
- ・ 各委員会報告
《出席・親睦》
- ・ 国際奉仕委員会



米内直前 S A A



《出席報告》桜田委員長

正会員数 43 名。本日の出席は免除
会員 5 名を含む 26 名。出席率
69%です。前々会の例会は、職場
訪問例会でした。

《ゲスト》

地区米山記念奨学会委員

平野 榮子 様 八戸北 R C

米山記念奨学生 リム・ユウジャさん

《ビジター》

小渡 康朗 様 八戸 R C

種市 良意 様 八戸 R C

大館 一法 様 八戸東 R C

《会長要件》榎会長



今日は米山奨学生のリムさんをお招きして卓話を頂きます。ガバナー月信の中に米山の集いが開催されたという記事がありました。8 月 30 日にカワヨグリーン牧場で会合が催された訳ですが、その中での米山記念奨学会委員長の工藤さんのコメントの一部を紹介します「当日参加してくれた 4 人に卓話をしてもらいました、本分科会では、普段、奨学生と接する機会の少ないクラブの方々に、優秀な米山奨学生の卓話を聞いていただき、米山奨学事業の意義をご理解していただけたのではないかと思います。また、さらに理解していただくには、それぞれのクラブの例会に奨学生を呼んでいただければと思っております。」とありますが、これを実行する事が出来ました。皆さんもご存知とは思いますが「ロータリー入門書」の米山記念奨学会の所を読んでみます。「米山記念奨学会、これははじめ東京クラブのプロジェクトとして発足したもので、日本ロータリーの創始者米山梅吉翁の逝去にあたり、その偉業を記念したものです。奨学金授与の対象は主として東南アジアからの私費留学生で、現在日本の大学(主として大学院)に在学している学生に学費の補助を行うものです。資金は日本

全地区のロータリアンからの一定額の寄付金(普通寄付)と、それ以外の個人、法人、クラブからの寄付(特別寄付)によって賄われます。一後略一」というような事が書かれています。このように基本的な事が書かれていますが、これからも米山についての寄付をいただければ優秀な奨学生を多く援助できるのではないかと思います。よろしくお願いします。

《幹事報告》伊藤幹事

先週行われた理事会の報告を致します。

・11 月の例会について、11 月 6 日(木)任意休会、11 月 13 日(木)国際奉仕委員会担当例会で姉妹クラブ担当として南浦項訪問の報告をして頂きます。11 月 20 日(木)ゲストスピーチ又は会員卓話例会、ゲストスピーチとして野田村の方をお願いしてあります。11 月 27 日(木)ロータリー財団委員会担当例会です。

・下田会員から出席免除会員の申請があり承認しました。

・10 月から新しい席になっていますが会長方針で最初はクラブ組織運営委員会中心の席でしたが今回は奉仕プロジェクト委員会中心の席になっています。
・ガバナー事務所から地区大会参加のお礼状が届いています。八戸学院光星高校さんから光星祭の案内が届いています。10 月 18 日(土)19 日(日)です。八戸市を緑にする会から菊まつりの案内が届いています。10 月 29 日から 11 月 3 日まで八戸市庁前広場です。

・ハイライト米山が届いています。



《ニコニコボックス）小笠原委員

榊会長：リム・ユウジャさんようこそお出で下さいました。

伊藤幹事：リム・ユウジャさんようこそ、平野様今日はありがとうございます。

山田会員：リム・ユウジャさんようこそ、平野様本日は御世話になります。

結婚記念日：大澤会員



《国際奉仕委員会》山田米山担当副委員長



本日はお忙しい中、平野さんお世話になります。リム・ユウジャさんようこそ。私もかなり前になりますが米山のカウンセラーをしたことがあります。中国の新疆ウイグル地区の新疆大学の方でした。機会がありましてウイグルに行って参りました。大変歴史のある古い学校で生徒数の多いのにびっくりしましたが、その時の事は帰ってきた時にご報告させていただきました。今年米山の委員長を仰せつかり米山を勉強しなおしました。これは世界でも誇れる唯一の外国からの留学生をご援助するという会でございます。支援している方々の割合を見ますと中国の方が約30%、韓国の方が約24%、台湾の方が約20%とこの3か国で約75%です。そのほかにマレーシア5.1%、ベトナム3.2%、インドネシアが2.1%でそのほかのアジアの方々が11%です。このように多くの方々が米山記念奨学金を使っていると思いますが、その中で博士号を取得なさった方は約3,300名という人数になっています。内訳を見ますと工学系の方が多くて1,100名、医学系500名、農業系500名、理学系が300名で人文学が200名と言う割合でドクターの資格をお取りになっています。このような事を勉強してみると、我がクラブも真剣にこの件について勉強して頂いて更なるご寄付をお願いできればと思っています。先般ガバナー公式訪問の時に一人年間1万円の寄付をお願いしましたが、現在8名の方にご賛同を頂いております。今日、鈴木さんから10回目の米山功労者としてのご寄付を頂きました。ありがとうございます。皆様の更なるご協力をお願いします。今日は貴重なお時間を頂いてのリム・ユウジャさんの卓話です。皆様よろしくお祈りします。

《地区米山記念奨学会委員》平野榮子様

地区の米山委員を仰せつかりました八戸北RCの平野です、よろしくお祈りします。山田さんから米山について詳しくご紹介いただきまして、私は委員になったばかりであり勉強していなかったのですが私も勉強になりました、ありがとうございます。一つ付け加えさせていただくとすれば、私もデータはあまり見たことがなかったのですが、リムさんをご紹介するにあたりデータを見まして南クラブさんの寄付額の多さにびっくりしました。私



どものクラブは累計で197万円ですがこれは言い訳をさせて下さい、北クラブは交換留学生を受け入れていましてそちらの方にウエイトが掛かり米山に対して知識が足りなかったのではと反省しております。南クラブさんは桁が違います、累計で1,513万円です。皆様がいかに米山に関心があるかという事は寄付額によって比べることもありませんが、改めてすごいと言う事を実感させていただきました。

今日はマレーシアから来ていただいているリムさんをお連れしました。青森中央大学の4年生で経営学を専攻されているという事です。プロジェクターを使いながらお話をさせて頂きます。どうぞ皆さんよろしくお祈りします。

《米山記念奨学生》リム・ユウジャさん



皆さんこんにちは、私はリム・ユウジャと申します。ニックネームはユカと呼ばれています。マレーシアから参りました、青森中央大学の経営法学部の4年生です。世話クラブは青森東クラブ、サブクラブは三沢クラブです。私の専門は会計学で、今は卒業論文を書き始めたところです。日本の化粧品会社に対する経営管理や経営戦略に興味を持ったのでその課題について研究しています。(この後スライドを使いながら説明)

・出身はクアラルンプール・クアラルンプールの人口は約180万人・マレーシアは多民族国家・マレー系、中華系、インド系の他に少数民族も集まっている・中華系は幼稚園からマレー語、英語、中国語(北京語)を学ぶ・クアラルンプールで通じる中国語は広東語である・リムさんはマレー語、英語、中国語(北京語)、広東語を話せる・色々な国際交流のイベントやボランティアに参加している・主に通訳での参加・人々との交流の中で青森をよく知るようになった・日本との文化の違い触れて多くの事を学んだ・留学したことにより沢山の国際交流の機会が得られ、多くの体験で得た知識や経験は自分を成長させたと感じている・自分は幸せである etc.



リム・ユウジャさんどうもありがとうございました